

(様式2(1))

事業所名 CHIAKIほおずき神戸玉津

目標達成計画

作成日: 平成31年 3月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 19 20	入居者様・ご家族様の交流の機会を作っているが、定期的な交流にはなっていない。行事や家族会が中心の交流となっているが、回数が少ない。参加家族もある程度固定されている。	家族参加型の外出行事や施設内行事を増やし、参加を家族様に呼びかけ、交流の機会を定期的に作る。また、広報誌や面会時に日々の報告をまめに行う事で家族と施設の距離を縮め、意見や情報を交換しやすい状況を作る。	・2回/年 家族様が参加しやすい日曜日の昼に「家族会」を継続し、家族様と職員との情報共有の場を設ける。広報誌には写真を多用し、普段の表情がわかるような内容とする。家族が参加しやすい内容や日程を考慮し、家族と共に楽しめる行事を企画を行う。内容についても家族様からも意見をいただく。	12ヶ月
2	2 3 4	地域の方々との交流や連携を日々の業務の中で図っている。協力をして頂く事が多いが、地域に対する貢献や交流が不足している。また、地域の中でのほおずきの役割が明確になっていない。	運営推進会議等でほおずき神戸玉津に来て、知っていただく機会を継続して作る。参加だけではなく運営にも積極的に意見等をいただく。また、地域との交流の機会へ参加や自治会活動への参加を行う事で地域の一員としての活動を行う。	31年度も運営推進会議への参加や地域住民の立場からご意見をいただく。会議等でいただいた意見を具体的に対応、報告を行う。また、地域の祭りや行事へ入居者様と参加したり、自治会活動への参加や公園の掃除への参加継続等、地域への関わりを持ち、ほおずき神戸玉津が担うべき事は何なのかを模索してい	12ヶ月
3	23 26 40	入居者様の希望や状態を把握し、その方にあった計画やケアを行っているが要望の多様化や状態の重度化に対応しきれていない	日々の健康や機能の状態を介護・看護師が連携し、把握する。介護計画書に個別性を持たせ、その方にとってより良い生活となるように具体的にケアを行っていく。レクリエーションや行事にもアセスメント内容を反映させていく。	毎日のバイタルチェックを行い、健康状態を把握する。普段の様子を細かく把握し、報連相をしっかりと行っていく。アセスメントを職員全員で行う事で広く適切に行い、介護計画書を作成。実践する。レクや行事に関しても季節感を大切に状態に合わせた内容で実施。献立決定、調理を職員が担う事を継続する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。